

環境調査結果のお知らせ

概況

本日、環境調査を行いましたので結果を送付いたします。

検鏡の結果、麻痺性貝毒原因プランクトンであるアレキサンドリウム属が最大30細胞/mL確認されました。

柱状採水（0~10mの海水をひとまとめに採水）した海水では、魚類に対して有害なプランクトンは確認されませんでした。

アレキサンドリウム属は、主に二枚貝（食用を含む）毒化させる恐れがあるので十分注意してください。

今後、飼育魚や海色等に異常が確認された場合は、海水をペットボトル等で採集し、漁協もしくは宿毛漁業指導所にご連絡下さい。

調査点 (透明度/水深) 【調査時刻】	海洋環境				プランクトン	
	深度 (m)	水温 (°C)	塩分	溶存酸素 (mg/L)	コクロディニウム・ ポリクリコイデス	アレキサンドリウム 属
	0	16.9	34.6	6.8	0	0
A 藻津 (-/36.5m) 【09:11】	★ 5	17.0	34.6	6.8	0	0
	10	17.0	34.6	6.8	0	0
	15	17.0	34.6	6.7	-	-
	20	17.0	34.6	6.8	-	-
	0	16.8	34.5	6.7	0	0
B 大島中央 (-/32.7m) 【09:20】	★ 5	16.8	34.6	6.7	0	0
	10	16.9	34.6	6.5	0	0
	15	16.9	34.6	6.5	-	-
	20	16.9	34.6	6.5	-	-
	0	17.1	34.6	6.4	0	0
C 小筑紫中央 (-/48.8m) 【09:31】	5	17.1	34.7	6.4	0	0
	★ 10	17.1	34.7	6.4	0	0
	15	17.1	34.6	6.4	-	-
	20	17.1	34.6	6.4	-	-
	0	16.9	34.5	7.2	0	6
D 栄喜 (-/11.5) 【09:51】	★ 5	16.9	34.6	7.3	0	12
	10	17.2	34.6	7.0	0	12
	0	17.1	34.6	6.6	0	0
E ヒロウラ (-/24.9m) 【10:18】	5	17.1	34.6	6.6	0	0
	★ 10	17.1	34.6	6.6	0	0
	15	17.1	34.6	6.5	-	-
	20	17.1	34.6	6.5	-	-
	0	16.8	34.3	7.9	0	25
F 青瀬山 (-/15.9m) 【10:02】	3	16.9	34.5	8.0	0	30
	★ 5	17.0	34.5	7.8	0	19
	10	17.2	34.6	7.2	0	0
	15	17.1	34.6	6.8	-	-

クロロフィル量が極大の深度および、0m、5m、10mの深度から採水した海水の検鏡を実施しています。

★：採水したサンプルの内クロロフィルが極大であったもの

こちらの「環境調査」は、高知マリンイノベーション情報発信システム「NABRAS」(URL：<https://kmi-nabras.pref.kochi.lg.jp>)においてもご覧いただけます。

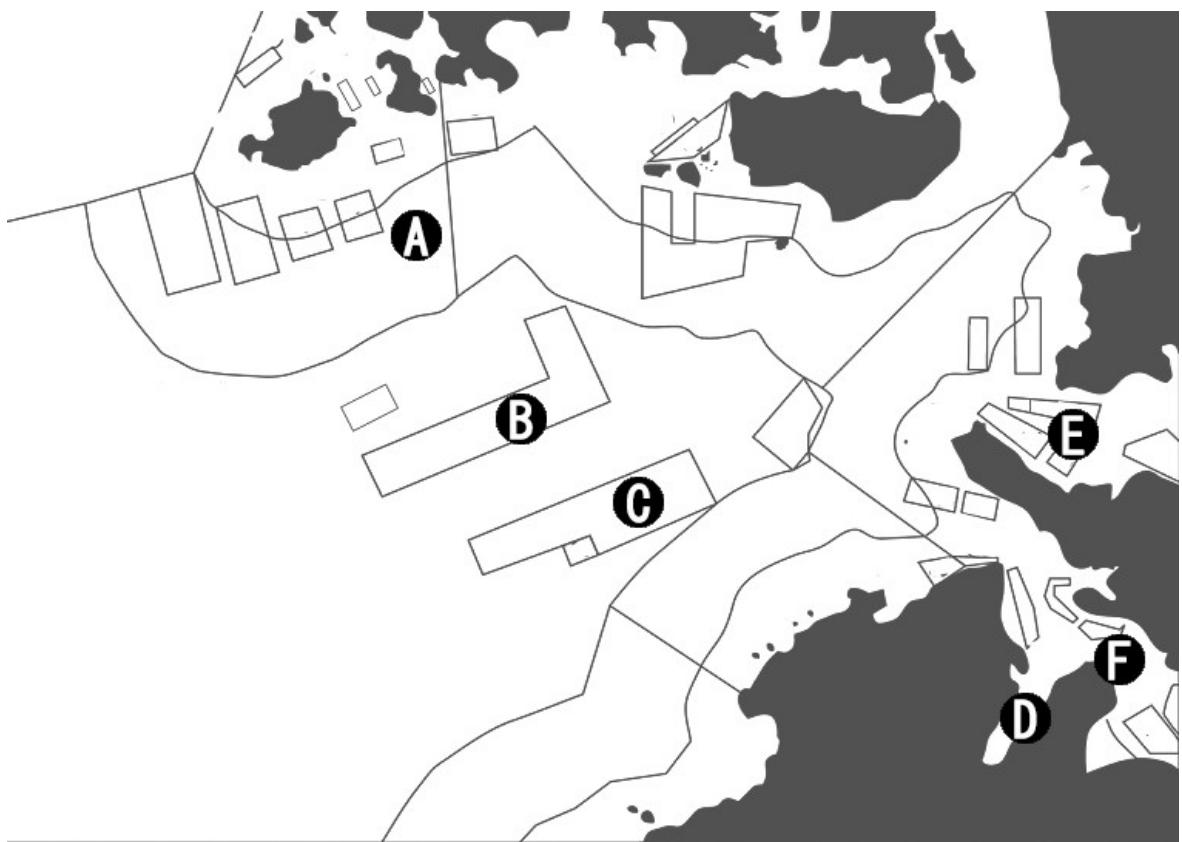
参考：有害プランクトンの種類と注意及び警戒基準

有害プランクトン	被害	注意基準（※1）	警戒基準（※2）	主な赤潮発生時期 ※3
				宿毛湾
コクロディニウム・ポリクリコイデス	魚類等のへい死	10 cells/mL	100 cells/mL	5～6月
アレキサンドリウム属	二枚貝の毒化	10 cells/mL	100 cells/mL	3～5月

※1 注意基準：餌食いの悪化、警戒基準に達する恐れのある密度

※2 警戒基準：魚類及び二枚貝のへい死 並びに 二枚貝の毒化が想定される密度

※3 あくまで目安なので、水産試験場・漁業指導所の広報や養殖魚の状態に応じて、慎重な養殖管理をお願いします。



A: 藻津

D: 栄喜

B: 大島中央

E: ヒロウラ

C: 小筑紫中央

F: 青瀬山